［水　道　事　業］
第１章　　事業沿革と職員構成

１　事　業　沿　革
２　事業創設と拡張事業
３　施設整備、組織・制度の変遷
４　業　務　量　推　移
５　職　員　構　成

1 事 業 沿 革

(1) 位置と地勢

箕面市は、京阪神３極都市圏のほぼ中央となる大阪府の北西部に位置しており、東は茨木市、西は池田市、南は豊中市、北は豊能町と兵庫県川西市に接しています。

中心位置	
北緯	３４度４９分２５秒
東経	１３５度２８分２３秒
東西	７．１ km
南北	１１．７ km
面積	４７．８４km²

大阪の都心からは、約２０km圏内の距離に位置し、国道４２３号（新御堂筋）、国道１７１号をはじめとした道路網が整備され、平成１９年５月には、箕面有料道路も完成し利便性の向上が図られました。阪急箕面線、北大阪急行線などとのバスネットワークも整備されており、交通利便性の高い住宅都市を形成しています。また市域は、明治の森箕面国定公園を含む緑豊かな山間部の北部地域と南側の市街地地域に区分できます。

(2) 市の歴史と市街地の変遷

箕面市の歴史は、明治２２年(1889 年)の町村制施行により箕面・萱野・止々呂美・豊川の４村が誕生したことにはじまります。昭和２３年(1948 年)に箕面村が箕面町となり、萱野村・止々呂美村を合併し、さらに昭和３１年(1956 年)には豊川村を合わせ、大阪府下２４番目の市として市制を施行しました。

箕面市の近代的な発展は、明治３１年(1898 年)に箕面の滝を中心とした府営箕面公園が設立されて、観光地としての礎が築かれ、明治４３年(1910 年)の箕面有馬電気軌道（現在の阪急箕面線）の開通により開花しました。

大阪の都心部と直結されたことや、昭和４５年(1970 年)の万国博覧会の開催を契機に都市基盤の整備が推進され、民間企業や住宅都市整備公団（現独立行政法人都市再生機構）などによる住宅開発が促進されました。府下では数少ない観光都市として、また、緑豊かな住宅都市として発展してきました。

(3) 水道事業の沿革

箕面市の上水道は、箕面町時代の昭和２５年(1950 年)４月に箕面町議会において上水道の町営化が議決され、「箕面・西小路地区」に深井戸を水源とした水道施設を整備、昭和２６年(1951 年)４月から給水を開始し、平成１３年（2001 年）４月には通水開始５０周年を迎えました。

第１次拡張事業において昭和３４年(1959 年)に大阪府営水道の受水を受け、給水人口の増加や生活様式の変化に伴う水需要の増加に対応し、その後も順次拡張事業に取り組み、計画的に給水規模を拡張して安定給水を図ってきました。

現在は、第５次拡張事業を計画的に推進し、良好な市街地の発展に寄与するとともに、水需要に応じた計画の見直しも実施しています。

上水道事業の水源は、自己水源としての箕面川表流水、桜ヶ丘地下水及び半町地下水と大阪広域水道企業団水に区分されます。(大阪市を除く大阪府内 42 市町村で構成された大阪広域水道企業団が、大阪府水道部に代わり、平成 23 年 4 月 1 日から、本市を含む 42 市町村の水道事業者に水道用水を提供しています。)

北部の止々呂美地区は、昭和３４年(1959 年)に下止々呂美地区、昭和４２年(1967 年)に上止々呂美地区においてそれぞれ簡易水道を整備し、上・下止々呂美簡易水道事業として水道水の供給を行ってきましたが、平成２３年(2011 年)４月１日に大阪広域水道企業団から給水を受け、森町地区の北部簡易水道事業とともに、上水道事業に統廃合しました。

2 事業創設と拡張事業

事業名称	箕面市水道事業				
事業名	議決年月日	認可年月日	給水人口	1日最大配水量 1人1日最大配水量	備考
創設	昭和25年4月22日 議案第14号	昭和25年12月6日 厚生省阪衛第244号	20,000人	3,000㎥ 150ℓ	
第1次拡張	昭和33年5月27日 議案第33号	昭和33年12月15日 厚生省阪衛第1093号	32,000人	8,000㎥ 250ℓ	
1回変更	昭和34年3月17日 議案第26号	昭和34年3月31日 厚生省阪衛第637号			区域追加及び水源変更
2回変更	昭和36年10月25日 議案第97号	昭和36年12月28日 厚生省阪環第222号	40,000人	12,000㎥ 300ℓ	
第2次拡張	昭和39年11月13日 議案第99号	昭和39年12月22日 厚生省阪環第526号	80,000人	32,000㎥ 400ℓ	
1回変更	昭和42年12月22日 議案第84号	昭和43年3月4日 厚生省環第113号	82,000人	32,800㎥	
第3次拡張	昭和47年3月30日 議案第40号	昭和47年3月31日 厚生省環第265号	95,000人	38,950㎥ 410ℓ	
第4次拡張	昭和56年6月24日 議案第61号	昭和56年12月3日 厚生省環第626号	148,000人	70,000㎥ 473ℓ	
第5次拡張	平成6年12月5日 議案第79号	平成7年3月31日 厚生省生衛第359号	143,500人	73,000㎥ 509ℓ	
1回変更	平成13年12月21日 議案第84号	平成14年3月29日 厚生労働省発健第0329015号	131,000人	60,000㎥ 455ℓ	区域追加及び浄水方法変更
変更届出	平成15年9月25日 議案第90号	平成17年3月31日 厚生労働省発健第0331022号	126,030人	50,190㎥ 397ℓ	区域追加
変更届出	平成19年9月27日 議案第73号	平成20年10月14日 厚生労働省健水収第1014002号	127,222人	49,420㎥ 388ℓ	区域追加
2回変更	平成22年10月6日 議案第79号	平成23年3月23日 厚生労働省発健0323第5号	135,100人	48,200㎥ 357ℓ	区域追加

事業名称	簡易水道事業				
事業名	議決年月日	認可年月日	給水人口	1日最大配水量 1人1日最大配水量	備考
下止々呂美創設		昭和33年12月10日 府指令33環衛第2674号	500人	75㎥ 150ℓ	
廃止		平成4年1月31日 府指令環衛第612号			北部水道の給水開始をもって統廃合予定
変更	平成11年6月24日 議案第53号	平成11年12月1日 府指令環衛第505号	280人	218㎥ 779ℓ	給水量・人口の変更、浄水処理方法の変更
廃止		平成23年2月7日 大阪府指令環衛第2183号			箕面市水道事業による給水開始をもって統廃合
粟生創設		昭和38年8月1日 府指令38環第1585号	1,850人	277㎥ 150ℓ	
廃止		昭和43年3月4日 厚生省環第113号			第2次拡張事業に統合
上止々呂美創設		昭和41年5月31日 府指令環第333号	400人	60㎥ 150ℓ	
廃止		平成4年1月31日 府指令環衛第611号			北部水道の給水開始をもって統廃合予定
変更		平成5年3月31日 府指令環衛第791号			浄水処理方法の変更（ヒ素の除去）
変更	平成12年3月29日 議案第42号	平成12年3月30日 府指令環衛第661号	250人	190㎥ 760ℓ	給水量・人口の変更
廃止		平成23年2月7日 大阪府指令環衛第2182号			箕面市水道事業による給水開始をもって統廃合

事業名称	箕面市北部水道事業				
事業名	議決年月日	認可年月日	給水人口	1日最大配水量 1人1日最大配水量	備考
創設	平成3年10月2日 議案第105号	平成4年1月31日 府指令環衛第610号	20,400人	9,700㎥ 475ℓ	
事業名称	北部簡易水道事業				
変更	平成17年12月20日 議案第102号	平成18年3月28日 府指令環衛第2573号	2,800人	1,100㎥ 391ℓ	水源・給水人口・給水量の変更
廃止		平成23年2月7日 大阪府指令環衛第2180号			箕面市水道事業による給水開始をもって統廃合

3 施設整備、組織・制度の変遷

年	月	施　設　整　備	組　織　・　制　度
昭和 ２５	4		箕面町議会において上水道の町営化が議決、水道建設事務所を設置
	１２	西小路水源地工事着工 (工事竣工　昭和26年8月1日) ・水　　源　　深井戸　　1基 取水量　1,000㎥/日	
２６	4	西小路水源地から給水開始 ・給水区域　　箕面、西小路 ・給水戸数　　250戸	
２７	3	箕面土地㈱簡易水道用地施設を移管受 (才ヶ原) ・配　水　池　　1,000㎥　1池	
	4		機構改革　水道建設事務所を廃止 水道課を設置
	7	桜ヶ丘浄水場を国から無償借用 (昭和36年11月24日に無償譲渡) ・水　　源　　浅井戸　　1基 取水量　1,700㎥/日 ・配　水　池　　144㎥　1池 ・管理事務所　　1棟 ・給水区域　　桜ヶ丘	
	１２	給水開始区域　牧落、百楽荘、桜井	
２８	2		機構改革　水道課を水道部に改正
	9	日本発送電興業㈱簡易水道用地施設を移管受(桜ヶ丘浄水場系統)	
２９	2		制　　度　地方公営企業法を一部適用
３０	5	箕面取水場工事竣工、取水開始及び箕面浄水場１期工事竣工、給水開始 ・水　　源　　箕面川表流水 ・取　水　量　　3,000㎥/日 ・緩速ろ過池　　2池 ・配　水　池　　440㎥　1池 ・給水区域　　半町、瀬川	
３１	4	箕面浄水場給水開始に伴い西小路水源地を廃止	
	8		機構改革　水道部を水道課に改正 制　　度　給水工事公認業者制度採用
	１０	箕面浄水場２期工事竣工 ・緩速ろ過池　　1池 ・沈でん地　　2池	
	１２		市制施行
３３	4	給水開始区域　西坊島	
	6	給水開始区域　芝	

年	月	施　設　整　備	組　織　・　制　度
昭和 ３４	5	下止々呂美簡易水道水源地工事竣工、給水開始 ・水　　源　　奥山川表流水 ・取 水 量　　75㎥/日 ・配 水 池　　24㎥ 1池 ・給水区域　　下止々呂美	
３６	3	今宮受水地工事竣工 ・水　　源　　大阪府営水道 ・受 水 池　　500㎥ 2池	
	5	今宮受水地に大阪府営水道から受水開始、給水開始 ・給水区域　今宮、西宿、芝、稲、牧落、桜井、半町、瀬川の171号以南	
	7		機構改革　水道課を水道部に改正
３７	3	箕面浄水場配水池工事竣工 ・配 水 池　　530㎥ 2池	
	１２	新稲高区配水地１期工事竣工 (桜ヶ丘浄水場配水系) ・配 水 池(PC造)　　1,000㎥ 1池 箕面浄水場３期工事竣工 ・急速ろ過池　　2池 ・沈でん池　　2池 ・管理事務所　　1棟	
３８	4	桜ヶ丘浄水場深井戸工事竣工、取水開始 ・水　　源　深井戸　　1基	
３９	5	粟生簡易水道水源地工事竣工、給水開始 ・水　　源　　深井戸 1基 ・取 水 量　　277㎥/日 ・配 水 池　　75㎥ 2池 ・給水区域　粟生間谷、粟生外院、外院	
	7	給水開始区域　如意谷、東坊島、白島、石丸、粟生新家、小野原	
４１	6	坊島受水場１期工事一部竣工 ・水　　源　　大阪府営水道 ・受 水 池　　3,000㎥ 1池	
４２	1	坊島受水場に大阪府営水道から受水開始、給水開始	
	2	上止々呂美簡易水道水源地工事竣工 ・水　　源　　中谷川表流水 ・取 水 量　　95㎥/日 ・配 水 池　　32㎥ 1池	
	3	上止々呂美簡易水道水源地から給水開始 ・給水区域　　上止々呂美	
	4		地方公営企業法の全部を適用

年	月	施　設　整　備	組　織　・　制　度
昭和 ４２	６	粟生簡易水道水源地からの給水を廃止 (箕面浄水場配水系統)	
	１１	坊島受水場１期工事竣工 ・管理事務所　1棟	
４３	４	箕面浄水場高区配水池工事竣工 ・配　水　池　1,100㎥　2池	
	５	坊島受水場から箕面高区配水池へ府営水の送水を開始	
	９	半町第１取水場工事竣工、取水開始 (桜ヶ丘浄水場水源) ・水　　源　深井戸　1基	
４４	４	新稲低区配水地工事竣工 (桜ヶ丘浄水場配水系) ・配　水　池　1,000㎥　1池	
	７	大阪製糖㈱平和台専用水道用地施設を移管受(箕面浄水場配水系統)	
４５	１	桜ヶ丘浄水場改良工事竣工 ・沈でん池　300㎥　1池 ・浄　水　池　810㎥　1池	
	２	平和台水道施設改良工事竣工 ・受　水　池　95㎥　1池 ・配　水　池　150㎥　1池	
	４	船場東受水場、船場西高区配水地工事竣工 (船場東受水場配水系) ・水　　源　大阪府営水道　船場東 ・受　水　池　500㎥　2池　船場東 ・管理事務所　1棟　船場東 ・配　水　池　100㎥　1池　船場西	
	５	船場東受水場に大阪府営水道から受水開始、船場西高区配水地給水開始 ・給水区域　船場東、船場西	
	１２	箕面超高区配水地工事竣工 (箕面浄水場配水系) ・配　水　池　100㎥　1池	
４６	２	船場西配水地工事竣工 (船場東受水場配水系) ・配　水　池　2,000㎥　1池	
４７	５	宝ヶ丘簡易水道用地施設を川崎興産㈱から移管受(箕面浄水場配水系統)	
４８	４	坊島受水場２期工事竣工 ・受　水　池　4,000㎥　1池	
	９	新稲高区配水地２期工事竣工 (桜ヶ丘浄水場配水系) ・配　水　池(PC造)　1,000㎥　1池	

年	月	施　設　整　備	組　織　・　制　度
昭和 ４８	９	青松園配水地工事竣工 (坊島受水場配水系) ・配　水　池　　2,250㎥　2池	
４９	１２	間谷配水地工事竣工 (坊島受水場配水系) ・配　水　池(PC造二層式) 高区　　195㎥ 1池 低区　1,000㎥ 1池 間谷中継ポンプ場工事竣工 ・受　水　池　　350㎥ 1池	
５０	３	船場西配水地２期工事竣工 ・配　水　池　　2,800㎥ 1池	
５３	５	半町第２取水場工事竣工、取水開始 (桜ヶ丘浄水場水源) ・水　　源　　深井戸　1基	
５４	３	桜ヶ丘浄水場滅菌処理方法を変更(塩素ガス処理から次亜塩素酸ナトリウム処理に)	
	４		地方公営企業法第７条の規定に基づき管理者を設置 水道事業管理者に小椋靖宏就任(就任　昭和54年4月1日　退任　平成元年4月4日)
５５	６	箕面浄水場中区配水池増設工事竣工 ・配　水　池(耐震性)　　900㎥　2池	
５６	６	箕面浄水場滅菌処理方法を変更(塩素ガス処理から次亜塩素酸ナトリウム処理に)	
５７	６	船場東受水池増設・送水設備工事竣工 ・受　水　池　　650㎥　1池	
５８	５	箕面浄水場中区配水池建設工事竣工 ・配　水　池(耐震性)　　1,200㎥　1池	
６０	５	箕面浄水場新管理棟工事竣工 ・事務室、中央管理室、水質試験室等１棟	
６１	７	小野原配水地工事竣工 ・配　水　池(PC造二層式　耐震性) 高区　2,000㎥ 1池 低区　4,000㎥ 1池 ・ポンプ室　　1棟	
６３	８	新家南受水場工事竣工、大阪府営水道から受水開始 ・受　水　池(RC造半地下式)　850㎥　2池 ・電　気　室　　1棟 ・ポンプ室　　1棟 小野原配水地から給水開始(今宮受水地からの給水は小野原低区配水系統に編入)	
	９	今宮受水地　大阪府営水道から受水停止	

年	月	施　設　整　備	組　織　・　制　度
平成	3	今宮受水地廃止	
元	4		水道事業管理者に奥村貞美就任(就任　平成元年4月5日　退任　平成7年12月2日)
	8	下止々呂美簡易水道配水池増設工事竣工 ・配　水　池(FRP造地上式)　　70㎥　1池	
2	１２	上止々呂美簡易水道配水池増設工事竣工 ・配　水　池(FRP造地上式)　　75㎥　1池	
3	4		機構改革　組織機構を改変
	5	箕面浄水場汚泥処理施設工事竣工 ・汚泥処理棟　　1棟 ・脱水設備　　1基 ・排　泥　池　　95㎥　1池	
	１０	新家北受水場工事竣工 ・受　水　池(地下式RC造)　1,000㎥　2池 ・ポンプ室、電気室、地下式	
	１１	新家北受水場で大阪府営水道を受水開始、青松園配水へ送水	
4	9		工事積算システム運用開始
5	3		水道部庁舎移転
	4		財務会計システム運用開始
	１１	上止々呂美水源地急速ろ過設備工事竣工、急速ろ過浄水処理開始、緩速ろ過浄水処理廃止	
6	7		第１期水道モニター設置
7	1	兵庫県南部地震 市内漏水等被害発生(平和台配水地､受･配水管被災)､被災地救援活動	
	9		上下水道料金システムの自己処理運用開始
8	4		水道事業管理者に芝寅勇就任(就任　平成8年4月5日　退任　平成9年12月6日)
	5		第２期水道モニター設置
	6	病原性大腸菌Ｏ１５７対策として残留塩素濃度測定を実施	
	8		第１期水道事業運営審議会設置
9	7		機構改革　組織機構を改変 (職制変更､係制廃止(グループ制に移行))
	１１		第１期水道事業運営審議会より中間答申
	１２		水道事業管理者に横尾巖就任(就任　平成9年12月7日　退任　平成12年10月5日)
１０	3	船場西配水池耐震化補強工事竣工 ・配水池耐震化　　2,000㎥　1池 ・配水池耐震化　　2,800㎥　1池	
	4		公認業者制を指定工事店制度に
	6		第３期水道モニター設置

年	月	施　設　整　備	組　織　・　制　度
平成１０	7	大阪府営水道　高度浄水処理水を全量供給開始	
	8		第１期水道事業運営審議会より最終答申
	１０		第２期水道事業運営審議会設置
１１	3	船場西配水池増設工事竣工 ・配　水　池(耐震性)　　1,600㎥　1池 坊島受水場耐震化補強工事第１期竣工 ・受水池耐震化　　3,000㎥　1池	
	9		財務会計システム更新、水道情報ネットワーク運用開始
１２	3	坊島受水場耐震化補強工事第２期竣工 ・受水池耐震化　　4,000㎥　1池 下止々呂美簡易水道膜処理システム浄水処理導入	
	6	下止々呂美水源地膜ろ過浄水処理による給水開始	第４期水道モニター設置
	9		第２期水道事業運営審議会より答申
	１０		水道事業管理者に清田榮紀就任(就任　平成12年10月6日　退任　平成14年3月31日)
１３	7		第３期水道事業運営審議会設置
１４	4		水道事業管理者に平野忠志就任(就任　平成14年4月1日　退任　平成16年8月26日)
	5	大阪府営水道池田幹線桜ヶ丘分岐より給水開始 ・給水区域　瀬川の一部、半町の一部	
１５	4		公共下水道事業と統合
１６	7		第１期水道事業及び公共下水道事業運営審議会設置
	１０	箕面浄水場急速ろ過・緩速ろ過浄水処理を廃止	
１７	1		第１期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より中間まとめ
	１１	箕面浄水場膜ろ過設備工事竣工、箕面浄水場膜ろ過浄水処理による給水開始 箕面浄水場中央監視制御設備更新工事竣工	第１期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より答申 (国庫補助事業石綿セメント管更新事業に係る事前評価について)
	１２		第１期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より答申（箕面市北部水道の水源見直しに係る再評価について)
１８	3	青松園配水池耐震化補強工事竣工 ・配水池耐震化　　2,250㎥　2池	
	7		第１期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より答申

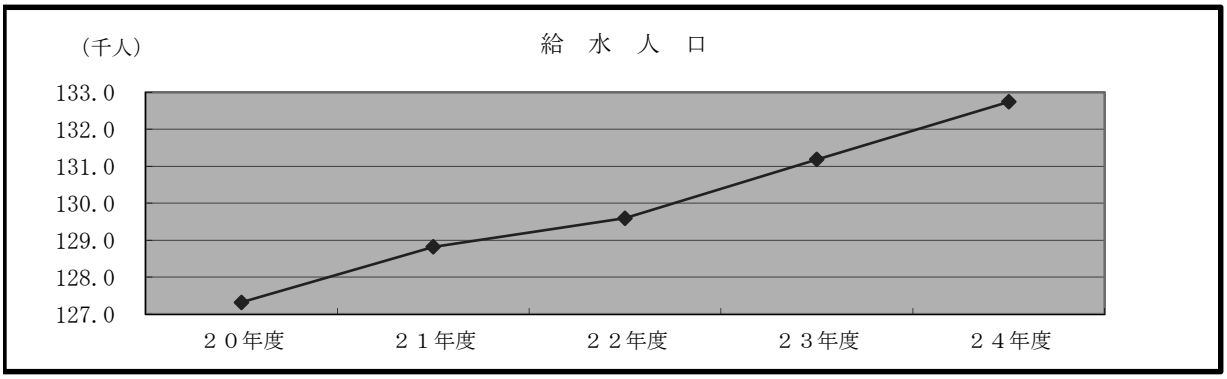
年	月	施　設　整　備	組　織　・　制　度
平成１８			（箕面市水道事業及び公共下水道事業の今後の経営のあり方について）
	１０		第２期水道事業及び公共下水道事業運営審議会設置 諮問事項 ①箕面市北部簡易水道事業の水道料金のあり方について ②箕面市水道事業及び公共下水道事業の経営戦略について
１９	１		第２期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より答申 （箕面市北部簡易水道事業の水道料金のあり方について）
	９	森町高区配水地１期工事竣工 ・配水池（ＰＣ造）　550㎥　1池 ・ポンプ室　１棟 ・緊急遮断弁室　１棟	
	１０	北部簡易水道給水開始	
２０	３		第２期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より答申 （箕面市水道事業及び公共下水道事業の経営戦略について）
	８		第２期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より答申 （箕面市公共下水道事業に係る再評価について）
	１０		第２期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より答申 （簡易水道等施設整備費国庫補助事業に係る事前評価について）
２１	２		第３期水道事業及び公共下水道事業運営審議会設置 諮問事項 （「箕面市上下水道事業経営ビジョン」の検証・評価及び見直しについて）
	４		水道事業管理者に埋橋伸夫就任(就任　平成21年4月1日　退任　平成25年1月31日)
	６		機構改革　水道部を上下水道局に改正 水道事業管理者を上下水道企業管理者に改正
	８	彩都低区配水地工事竣工 ・配水池（ＲＣ造）　1,350㎥　2池 ・流出弁室　１室（地下１階）	

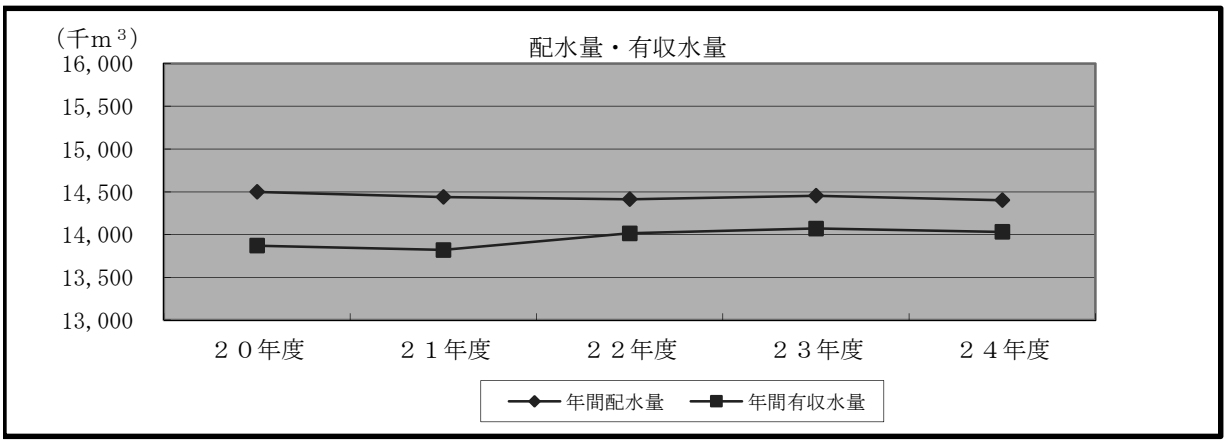
年	月	施　設　整　備	組　織　・　制　度
平成 ２１	８	川合受水場工事竣工 ・受水池（ＲＣ造）　　1,000㎥　2池 ・管理棟　地下1階(ポンプ室) 　　地上1階(電気室、換気ファン室)	
	１０	彩都低区配水池彩都粟生南地区他へ給水開始	
	１１		第３期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より答申 （「箕面市上下水道事業経営ビジョン」の検証・評価及び見直しについて、のうち桜ヶ丘浄水場の今後のあり方について）
２２	３		第３期水道事業及び公共下水道事業運営審議会 諮問事項 （大阪府営水道料金値下げに伴う箕面市水道料金の値下げについて）
	４		第３期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より答申 （大阪府営水道料金値下げに伴う箕面市水道料金の値下げについて）
	１２	彩都低区配水地内中継ポンプ棟工事竣工 ・ポンプ棟　地下１階（ポンプ室） 　　地上１階（電気室、換気室） 彩都中区配水地工事竣工 ・配水池（ＰＣ造）　　700㎥　2池 ・緊急遮断弁室　1室 ・流量計室　1室	
２３	１	彩都中区配水区域へ給水開始	
	４	上止々呂美簡易水道事業、下止々呂美簡易水道事業、北部簡易水道事業を廃止し、上水道事業に統合 森町・止々呂美地区へ大阪広域水道企業団から給水開始	
	１０		第４期水道事業及び公共下水道事業運営審議会設置

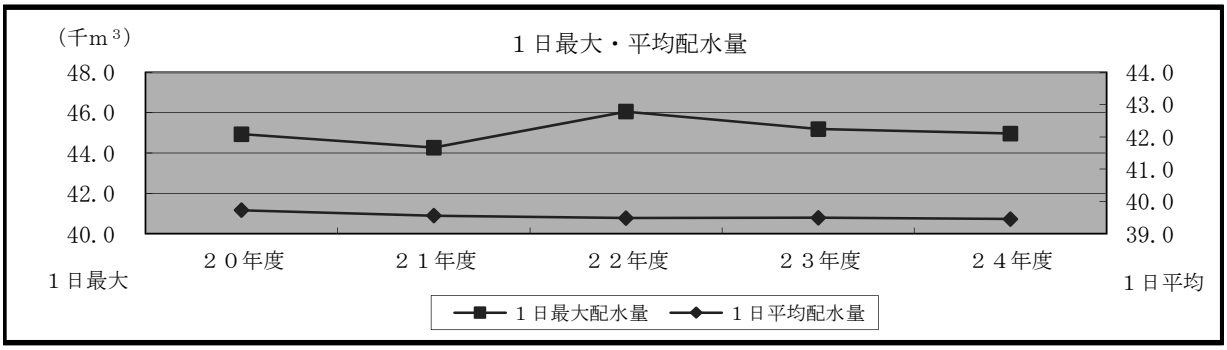
年	月	施　設　整　備	組　織　・　制　度
平成 ２４	１	止々呂美受水場工事竣工 ・受水池（ＲＣ造）　　200㎥　　1池	
	３	森町高区配水地２期工事竣工 ・配水池（ＰＣ造）　　550㎥　1池増設 下止々呂美水源地他撤去工事竣工	
	８	新稲高区配水池耐震化補強工事竣工 ・配水池耐震化　　1,000㎥　　1池	
	１２		第４期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より答申 （箕面市上下水道事業経営ビジョンの検証結果及び箕面市上下水道事業経営改革プランの進捗状況の評価について）
２５	２		上下水道企業管理者に出水善博氏就任（就任　平成25年2月１日）
	３		第４期水道事業及び公共下水道事業運営審議会 諮問事項 （大阪広域水道企業団用水供給料金の値下げに伴う箕面市水道料金の値下げについて）
	４		上下水道企業管理者を公営企業管理者に改正
			第４期水道事業及び公共下水道事業運営審議会より答申 （大阪広域水道企業団用水供給料金の値下げに伴う箕面市水道料金の値下げについて）

4　業務量推移

項　　目	単位	２０年度	２１年度	２２年度	２３年度	２４年度
行政区域内人口	人	127,402	128,902	129,678	131,267	132,823
給水人口	人	127,318	128,818	129,594	131,183	132,739
普及率	%	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
給水戸数	戸	59,762	61,151	61,753	63,078	63,469
給水栓数	栓	48,079	49,393	50,333	51,475	51,845
年間配水量	m^3	14,500,076	14,439,639	14,412,614	14,455,116	14,401,683
年間有収水量	m^3	13,870,108	13,819,529	14,015,058	14,070,133	14,031,156
有収率	%	95.7	95.7	97.2	97.3	97.4
１日最大配水量	m^3	44,929	44,264	46,049	45,183	44,963
１日平均配水量	m^3	39,726	39,561	39,487	39,495	39,457
１日平均有収水量	m^3	38,000	37,862	38,397	38,443	38,442
１人１日最大配水量	ℓ	353	344	355	344	339
１人１日平均配水量	ℓ	312	307	305	301	297
１人１日平均有収水量	ℓ	298	294	296	293	290







５　職　員　構　成

(1) 職員状況

年　　度	職員数	損益勘定	資本勘定	平均年齢	平均勤続年数
２０年度	５２人（３人）	４４人（３人）	８人	４９歳　８月	２６年　８月
２１年度	４７人（６人）	４１人（５人）	６人（１人）	５０歳　９月	２７年１１月
２２年度	４７人（８人）	４１人（７人）	６人（１人）	５１歳　４月	２８年　４月
２３年度	４１人（７人）	３５人（６人）	６人（１人）	５１歳　３月	２８年　８月
２４年度	３９人（９人）	３４人（８人）	５人（１人）	５１歳　２月	２８年　０月

*職員数は、常勤職員数であり、（ ）内は、短時間勤務職員数（外書き）である。
*管理者と公共下水道事業会計支弁職員を除く。

(2) 年齢別・勤続年数別職員構成（平成24年度）

区　　分		事務職員	技術職員	技能職員	合　計
年齢別	２０歳未満	－	－	－	－
	２０歳以上３０歳未満	－	１人	－	１人
	３０歳以上４０歳未満	２人	２人	１人	５人
	４０歳以上５０歳未満	５人	７人	３人	１５人
	５０歳以上	９人（１人）	３人（３人）	６人（５人）	１８人（９人）
	平均年齢	５１歳　４月	４７歳　５月	５４歳　７月	５１歳　２月
勤続年数別	５年未満	－	１人	－	１人
	５年以上１０年未満	－	２人	－	２人
	１０年以上１５年未満	１人	－	－	１人
	１５年以上２０年未満	２人	２人	－	４人
	２０年以上２５年未満	３人	３人	６人	１２人
	２５年以上３０年未満	１人	２人	－	３人
	３０年以上	９人（１人）	３人（３人）	４人（５人）	１６人（９人）
	平均勤続年数	２９年　１月	２５年　８月	３１年　１月	２８年　０月

*職員数は、常勤職員数であり、（ ）内は、短時間勤務職員数（外書き）である。
*管理者と公共下水道事業会計支弁職員を除く。

(3) 科目別平均給与（平成24年度）

（単位：円／月）

区　　分		基本給	手　当	計	備　考
損益勘定	原水及び浄水費	317,753	145,614	463,367	児童手当を含む。 総係費については管理者除く。
	配水及び給水費	322,724	166,016	488,740	
	受託工事費	470,496	227,077	697,573	
	業務費	356,919	157,438	514,357	
	総係費	364,229	183,703	547,932	
	平均	343,486	162,980	506,466	
資本勘定	拡張費	401,821	219,785	621,606	
	改良費	341,359	155,463	496,822	
	平均	371,590	187,624	559,214	
全体平均		346,999	166,060	513,059	